

感染予防策の徹底をお願いします

「ワクチン接種したからもう大丈夫」ではありません！

ワクチン接種後であっても新型コロナウイルスに感染する可能性はあり、自分では気づかないまま他者に感染させる可能性もあります。ワクチンの効果を過信してはいけません。

ワクチン接種の有無にかかわらず、これまで通りの感染対策を行いましょう。

新型コロナウイルス感染症の急拡大で特徴的なことは、ワクチン接種後の感染や、パーティーや会食など食事を伴う場を介しての感染が後をたたないことです。

また、政府は8月2日に「重症患者や重症リスクの高い方以外は自宅での療養を基本とし、症状が悪くなれば入院できる体制を整備する」との方針を表明しました。全国の新規感染者の増加により、病床ひっ迫が強まっており、症状悪化に伴う入院ができるとはいいいがたい状況です。今一度「感染しない」「感染させない」の取り組みを強化し、自分と他者のいのちと健康を守るための行動をお願いします。熱中症にも十分、気をつけてください。

■ 次の4つの感染予防策を強化・徹底しましょう

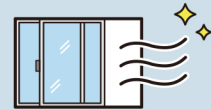
1. マスクの着用

マスクは感染予防対策の基本です。人と対面するときには必ず着用しましょう。また、マスクの効果としては不織布マスクが最も効果があるといわれています。組合員活動を行うときには不織布マスクの着用をおすすめします。



2. 定期的な空気の入替え

換気が不十分な空間では、空気中のウイルス濃度が増し、感染のリスクが高くなります。エアコンを使用中も、窓を開放しての換気が必要です。複数の窓、または窓とドアを開けて、空気の流れをつくります。30分に1回、5分程度、行いましょう。



3. 手洗い

手洗いはタイミングが重要です。こまめに行いましょう。

- ① 外出の前
- ② 人と共有する物(ドアノブ等)に触れたとき
- ③ 咳やくしゃみ、鼻をかんだあと
- ④ トイレのあと
- ⑤ マスクに触れたあと
- ⑥ 食事前



4. 会食はしない

マスクを外しての会話は飛沫感染^{ひまつ}のリスクが高くなります。家族や同居者との食事、会話や互いの距離に注意しましょう。それ以外の人との食事は少人数であっても控えましょう。



マスクの効果 (スーパーコンピュータ「富岳」によるシミュレーション結果)

